

「保育」の原点

『こんな高齢者が希望の星』

文 葛西得男

Text by Tokuo Kasai

今

から15年程前のこと、ニューヨークでロバート・F・ケネディ財団のチャリティ・イベントが行われた事がありました。私もこの財団の役員をしている関係で参加させて頂きました。

この財団の理事長はロバート・F・ケネディの娘でケリー・ケネディ・クオモさんです。彼女は当時、ニューヨーク州知事のクオモ氏と結婚し、三人の娘の母となった人です。

財団の理事長を務める彼女は、特にケネディ家の中で一番父の思いを受け継いでいるのではないかと私は思います。特に人権問題については様々な活動を精力的に行っているのです。

毎年一度はこの様なチャリティ・イ

ベントを開催しています。そして、その時のゲストが俳優のハリソン・フォード氏だったので期待して参加したのを覚えています。

彼の第一印象は目力が非常に強い人だと感じました。この目力がスク

リーンに映し出され、スーパースターになれたのだと納得しました。

「ロバート・F・ケネディ財団の役員をさせて頂いている葛西です」

彼に挨拶すると、あの映画で観るような人懐っこい笑顔で応えてくれました。あの優しい目を忘れる事はできません。人格も大変、素晴らしい方でした。

私は雑談の中で彼の「健康法」について聞いてみたように思います。彼の答えは3つ、

1 1つ目は自分にとっての良い食べ物

2 2つ目は筋トレ

3 3つ目が良い睡眠

なるほど、やはり食事・運動・睡眠なのか！と思ったのを覚えています。

2、3年前、ハリソン・フォード氏が操縦する小型機がゴルフ場に緊急着陸して機体はバラバラになったが、奇跡的に彼は生存して話題になりました。まさにインディ・ジョーンズの世界でした。

今年彼は75歳になりますが、15年前に見た笑顔と肉体は健在、最近『プレードランナー2049』も公開され、益々活躍されています。彼は不死身の人

であり伝説的な俳優だと思っています。

いつまでも若々しいハリソン・フォード氏。まさに彼は世界の高齢者の星だと思いました。子供たちとお年寄りが元気な社会、これからも子供たちとお年寄りのための社会づくりの一助になればいいなと思いました。



Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。
1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。
1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松福会 理事長に就任。
松福会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。
アップリカ葛西 副社長時代に国連UNEP 環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。

